

5（6）年生になって

名前

○ 今の自分について考えてみましょう。

自分のよいところ・とくいなこと

好きなこと・夢中になっていること

好きなことや夢中になっていることの自覚が、将来の希望や夢をもつことにつながります。

しょう来の夢

就きたい職業、「オリンピックに出たい」のような目標、「〇〇な大人になりたい」といった「なりたい自分」の姿等、様々な夢や目標があります。すべてを認め、その夢に向かって、今何をがんばるかを考えるきっかけにします。

・学年始めに行う学級活動（3）「ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の育成」で活用するシートの一例です。
・新しい学年への前向きな気持ちで書くことができるように支援します。高学年になると書きづらい児童が出てきますが、人と比べずに自分なりに思うことを書かせます。書けない児童には、担任や友達に思うよいところなどを伝えるなどの支援をします。

学習面

そのためにすること

生活面

そのためにすること

家庭や地域

そのためにすること

・1年間でどんな自分になりたいかをイメージさせ、そのための具体的な行動目標を意思決定させます。
・目標は、朝の会等で見直す時間をもちます。途中で必要に応じて目標を修正することも可能とします。

学年や学校のためにがんばりたいこと

集団のために、自分に何ができるのかを考えることは、社会で生きていくために必要な資質・能力の育成につながります。

○ メッセージ（友達、先生、家の人などから）

地域や学校の実態に応じて温かなメッセージを記入します。

5（6）年生

記入日 月 日

1学期をふり返りましょう

名前

- なりたい自分に近づくために取り組んだことやえいきょうを受けた出来事を書きましょう。

・「できた、できない」だけでなく、できるようになるために行動した自分に気付かせ、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにします。

- 今後がんばりたいことやちょう戦したいことを書

・実体験だけでなく、テレビや本等で得たことも含め、影響を受けた出来事とすることも考えられます。

5（6）年生

記入日 月 日

2学期をふり返りましょう

名前

- なりたい自分に近づくために取り組んだことやえいきょうを受けた出来事を書きましょう。

前の学期と取り組んだことが同じになる児童に対しては、がんばり続けていることとして、肯定的に捉えられるよう支援します。

- 今後がんばりたいことやちょう戦したいことを書きましょう。

5（6）年生
学習活動

記入日 月 日

名前

○ 活動内よう

高学年では社会科での食料生産や工業生産の学習、総合的な学習の時間での「働く人から学ぶ活動」等、キャリア教育の年間指導計画のもと、各地域・各学校において実践されている学習の中から1～2回記入する機会を設けます。

○ 自分の目当て

学習活動を児童の成長につながるものにするためには、事前指導が重要です。教師が児童に対して、どのような経験や成長を願っているのか、どのような意義のある学習なのかを丁寧に伝えてから記入する時間を設けます。

○ ふり返ろう

○ この学習で学んだことや心に残ったこと

児童自身が、自分のがんばりに気付き、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにどんな些細なことでも、分かったことを書き、成長として気付かせるようにします。その際、成功体験だけでなく、うまくいかなかったこと等も自分の成長につながる貴重な体験であることを伝え、励まします。

○ これからの学習や生活に生かしていきたいこと

- ・児童が夢や希望、生き方を考えることができるように地域や学校の願いを反映させた温かなメッセージを贈ります。
- ・児童が書いた振り返りの文章に、教師がアンダーラインを引いたり、認め印を押したりすることも、児童一人一人の願いや思いを温かく受け止め、認めることにつながります。各学校で、児童との対話的な関わりについて検討し共通理解しましょう。

○ メッセージ（友達、先生、家の人など）

5（6）年生
学校行事や集会、係活動や当番活動

記入日 月 日

名前

○ 活動内容

- ・学級活動（3）「イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」等で活用します。
- ・係活動や当番活動、自分が進んでする仕事等を題材に、自分や周りの人のために働くことの大切さについて話し合い、自分の役割や責任、自他のよさを考え、友達と高め合って取り組めるようにします。

○ 自分の目当て

○ 自分の役わり

責任をもって自分の役割を果たすことや、友達と協力し、進んで活動することを意識付けることが大切です。

○ 振り返ろう

- この学習で学んだことや心に残ったこと
- 友達と力を合わせることができたこと
- これからの学習や生活に生かしていきたいこと

児童自身が、自分のがんばりに気づき、その後の学校生活に前向きに取り組むことができるようにどんな些細なことでも、がんばったことやうれしかったことを書き、成長として気付かせるようにします。その際、成功体験だけでなく、うまくいかなかったこと等も自分の成長につながる貴重な体験であることを伝え、励まします。

○ メッセージ

- ・児童が夢や希望、生き方を考えることができるように地域や学校の願いを反映させた温かなメッセージを贈ります。
- ・児童が書いた振り返りの文章に、教師がアンダーラインを引いたり、認め印を押したりすることも、児童一人一人の願いや思いを温かく受け止め、認めることにつながります。各学校で、児童との対話的な関わりについて検討し共通理解しましょう。

5（6）年生

地いき活動がんばりカード

名前

○ 1年間の地いきの活動

月	活動名	ふり返り
4	・ 町のお祭り	・ 町内の人と楽しく話をする事ができた
		<ul style="list-style-type: none">・ 学校内外の様々な場で、自分と地域との関わりに向けられることができるようにします。地域との関わりや愛着を深めようとする取組を認め、励ますことによって、児童が、意欲的に地域の活動に参画していくように支援します。・ 学校全体または個人で参加した地域の活動について、月末や夏休み明けに、朝の会等を利用して振り返るようにします。

記入日 月 日

○ 自分が住んでいる地いきのよいところ・好きなところ

児童の地域に愛着を深め、関わりを深めようとする取組を認め、大いに励まします。

○ これから地いきのためにがんばりたいこと

○ 心に残った地いきの活動や、お世話になった地いきの人のがんばるすがたなど

地域との関わりを通して、キャリア教育のねらいにつなげます。

- 自己及び他者への積極的関心の形成・発展
- 勤労を重んじ、目標に向かって努力する態度の形成
- 身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上
- 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得

5（6）年生

記入日 月 日

5（6）年生をふり返ろう

名前

○ 「なりたい自分」に近づくためにがんばったことやできるようになったことを書きましょう。

学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・学年末の学級活動（3）「ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」で扱います。学年始めに記入した項目や、これまでの学習、学校行事等の記録を基に成長を振り返る活動を設定します。 ・以前と同じ内容が同じになる児童がいる場合は、がんばり続けていることとして、肯定的に捉えられるよう支援をします。
生活面	
家庭や地域	
学年や学校のためにがんばったこと	

○ 今の自分について考えてみましょう。

①：ほとんどできていない ②：あまりできていない ③：まあまあできている ④：かなりできている
点を線でつないで4月と比べてみましょう。形が大きくなりましたか。

自己理解・自己管理能力

- 自分の長所や短所を理かしようとしている。
- 好きでないことや苦手なことでも、自分から進んで取り組む。

人間関係形成・社会形成能力

- 友達や家の人の話を聞くとき、その人の考えや気持ちを分かろうとする。
- 自分の考えや気持ちを、相手に分かりやすく伝えようと気をつける。

課題対応能力

- 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、だれかに質問したりする。
- 何かをするとき、計画を立てて進めたり、と中でやり方を工夫したり、見直したりする。

キャリアプランニング能力

- 自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の工夫を工夫する。

年度始めと形や大きさを比べることによって、自分の成長を視覚的に確認することができますようにします。

○ こんな5（6）年生になったよ！この1年間で成長したところ

どんな些細なことでも、できるようになったことを書かせ、成長として気付かせます。

5(6)年生でのたくさんの経験が、6(中学1)年生につながります。

こんな6(中学1)年生になりたいな!

- ・学級活動(3)で扱います。進級は、大きく生活が変わる時期です。次の学年の学校生活や「なりたい自分」についてイメージできるように支援し、新しい学年への希望を膨らませられるように支援します。小さな目標でもよいことや具体的な目標になっていなくてもよいことを伝えます。
- ・6年生に対しては中学校生活に向けて不安なことがあれば書いてもよいことを伝えることで、一人一人の悩み等の把握に努めるなど、一層の児童理解につなげるようにします。

○ 1年間成長した自分へのメッセージ(友達・先生・家の人などから)

※ふせんやカード等を交換して貼り付ける

- ・付箋やカード等を交換し合い、貼り付けてもよいことを伝えます。「友達のがんばっていたこと」等、相互評価を加え、互いのよさやがんばりに気付く機会となるようにします。
- ・他者からのメッセージを読み、自己肯定感を高めるとともに、記入したことを学級や学年で交流することにより、集団としての成長を確認することもできます。

○ 将来の夢(小学5(6)年生 月)

将来の夢や希望を考える場をもち、現時点での記録を残していくようにします。